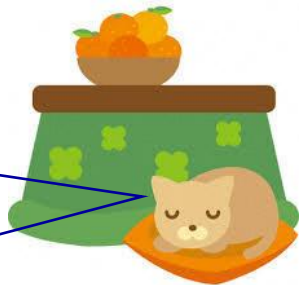




| 書 名                                     | 著 者                         | 出版社     | 内 容                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------|-----------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Black Box ブラックボックス                      | 伊藤 詩織                       | 文藝春秋    | 信頼していた人物からの、思いもよらない行為。しかし、その事実を証明するためには・・・密室、社会の受け入れ態勢、差し止められた逮捕状。あらゆるところに「ブラックボックス」があった。想像して欲しい。著者に起こったことがあなたや、あなたの大切な人にいつ、どこで降りかかってくるか誰にも予測できない。 |
| わたしらしく、LGBTQ（全4巻）                       | ロバート・ロディ<br>ローラ・ロス<br>上田勢子訳 | 大月書店    | 人の数ほどさまざまに存在する生き方や、性のあり方が受け止められる社会の実現をめざして。小学校高学年から使える教材としてLGBTについてわかりやすく説明。                                                                       |
| わが家の母はビョーキです2                           | 中村 ユキ                       | サンマーク出版 | 大反響の第1部に続き第2弾「家族の絆編」―著者がマンガで語る感動の話題作。読むだけで家族を大切にしたい！                                                                                               |
| シングルマザーをひとりぼっちにしないために～ママたちが本当にやってほしいこと～ | シンママ大阪応援団                   | 日本機関紙出版 | 孤立していた4人のシンママたちが語り合った初めての座談会。貧困と社会の眼差しに向き合いながら、子どもたちの幸せを願う彼女たちの人生を支援するために必要なことは何か。                                                                 |

知っていますか？

ウィルではDVDの貸し出しならびにウィル所蔵DVDの視聴ができます！  
寄り道講座で上映した「タイピスト！」「ダイアナ」も貸し出ししています。  
お気軽に交流スペースにお立ち寄りください！！



<ボン子のシネマ de ひとりごと>

「ハンズ・オブ・ラブ 手のひらの勇気」という映画がおすすめ！  
アメリカに実在する女性の同姓カップルが、本当の「平等」を求めて愛する人のために闘った記録を映画にしたもの。  
郡のパートナーシップ制度により正式にパートナーとして認められたローレル（刑事）とステイシー（自動車整備士）の2人。  
しかし、ローレルはがんを発症し余命宣告を受ける。パートナーであっても「婚姻関係」は認められないとして、ローレル亡き後のステイシーの年金受取りは適用されないと申請を却下されてしまう。  
大切な人を守りたい思いから「平等」を求めたローレルの小さな声は次第に周りを動かし社会を変えていく。

<2015年 アメリカ>



# ウィル

枚方市男女共生フロアだより 平成30(2018)年2月発行

◆自分らしく生きる◆

今の社会の中で息苦しいと感じることありませんか？  
一生懸命周りに「合わせて」「がんばって」生きることを求められる場面が多いと感じるのは考え過ぎでしょうか・・・  
マイノリティの人たちや、しんどさを抱えて生きている人たちはもっともっと息苦しさを感じて生活しているのでは、と危惧してしまうことも度々です。  
3月にウィル恒例の「ウィル de シネマ」を2日間開催します。上映作品は『彼らが本気で編むときは、』と『カノン』の2本です。  
『彼らが本気で編むときは、』は性別を超えて本気で愛し合い相手をいたわり合うカップルと「彼ら」をめぐる家族のかたち、また『カノン』ではアルコール依存症の母の元で育った3姉妹が自分たちの傷に向き合いながらそれぞれの人生を生きる姿を描いています。どちらも映像をとおして観る者の心を大きく揺さぶります。  
ひとりひとりが自然体で自分らしく生き、身近な家族や周りの人のことを思いやりながらお互いを見つめなおす。そして職場や地域、いろいろな場でそれぞれを認め合い支えあう、こんな当たり前のことが普通にできる社会になればいいなあと考えるこの頃です。



- contents
- (1) ウィルコラム
  - (2) 特集 市民の投稿より
  - (3) イベントのご案内
  - (4) 新着図書案内他

枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」  
電話/050-7102-3232（平日9時～17時30分）  
※パープルリボン は女性に対する暴力根絶のシンボルです。





&lt;特集&gt;

# 関西は大学を就職しないまま卒業する女子が多い！？

## ～14歳女子中学生が抱いた感想～

ある新聞に気になる記事があった。昨今の就職活動は売り手市場であり、今の学生は就職のチャンスに恵まれている。昨年3月に無業やアルバイトで卒業した者は全体の9.4%、正規雇用でない者は3.2%で、2000年代前半の就職氷河期と比較すると改善されている。しかし、関西は大学を無業で卒業する女子の割合が全国平均より高いという。

就職活動は自分にあった企業に巡り合うまで続ける気力と働いて自立することがいかに重要かという意識を持ち続けることができるかが課題だが、女子学生の中には「女子だからそんなに頑張らなくていい」「どうせ結婚したら辞めるから」という言い訳を考え、親までもが「職種がダメ」「その会社はダメ」「家にしばらくいてもいい」と応援せず、結果的に無業で卒業してしまうケースがあるという。

実は大学卒業時に無業、または初職が非正規だとその後もずっとハンデが続くといわれる。仕事を得るということは、経済的基盤だけではなく社会で自分の役割や居場所を得ることでもあるからだ。その重要性を本人も親にも理解していただきたいというのが記事のまとめだった。

この記事を読んだ14歳の女子中学生の感想文が手元にあるので以下に掲載する。

「女子だから」というのはもう通用しない時代に生まれてきたのだとあらためて思いました。

しかし、これは良い面でも悪い面でも受け取れることです。良い面とはもちろん時代と共に社会が変化し「女性差別」が無くなったことです。しかし、一部の「娘をもつ親」や「女性」はその良い面の重要性を理解していないようです。大学卒業時に正規の職についてない人が多くいるということは小さな問題のように思えますが、大学卒業時に無業だとその後もずっとハンデが続くということこの記事を読むと大変なことだと思いました。「職に就く」ということは「社会に自分の居場所を作る」ということでもあります。社会に居場所がないということは異性との出会いも少なくなり、結果「未婚者が増え、少子化も進む」ことになります。これが悪い面だと私は思います。その悪い面をなくすには「大学の卒業時にもっと働くことについて考える」ことが大切です。小学校入学から大学卒業までのたった16年間で、その後60年以上の人生が決まると思えば、今少しの努力をするのも大切なことだと思います。(M・中学2年)

感想文は女子学生の就活事情に対する彼女の真っ直ぐな解釈が直接的な表現で綴られていて新鮮だ。しかし、大人たちはその16年間の頑張りの大切さを子どもたちに正しく伝えることができているのか。ただただ、子どもたちへのプレッシャーになってはいないか。そして、社会はそこからドロップアウトしてしまった者に対し、再起への選択肢やサポートできる体制を準備できているのか。

### ■講座・イベントのご案内

## ウィルdeシネマ

3月8日(木)

『彼らが本気で編むときは、』

2017年 127分

①14:00～ ②18:30～

生田斗真と桐谷健太といった今活躍中の俳優によるジェンダーと「家族の形」をテーマにした内容。女性として生きることを決意し、ありのままの自分を見いだす「彼女」と「彼女」と共に生きることを選ぶ彼。彼らが本気で編むときに自分らしく生きる未来が見えてくる。

©2017「彼らが本気で編むときは、」製作委員会



3月9日(金)「カノン」

2016年 123分

①10:00～ ②14:00～

アルコール依存症の母親に育てられた3姉妹。傷を背負った3姉妹それぞれの生き方が描かれる中で、DV夫との生活に疲れきった長女が選んだ道は…。3人の思い出の曲「カノン」が心地よく流れる。



【場所】メセナひらかた会館6階 大会議室 【定員】いずれも170人

【参加費】無料 【保育】先着10人 生後6ヶ月～就学前児(要予約)

【申込み】2月1日より電話またはファクスでウィルへ

ファクス申込みの場合は、名前・電話番号・映画の題名と時間①②を明記してください。  
参加不可の場合のみご連絡いたします。

## ウィル・ミニ・フェスタやります！ 3月22日(木)

男女共生フロア・ウィルがひらかたサンブラザ3号館に移転して3月で丸1年が経ちます。

1周年を記念し、移転後新たに設置した交流スペースでミニ・フェスタを開催します。

人形劇、紙芝居、カンタン小物づくり体験、映画「人生いろいろ」上映会、

CAPミニ講座など楽しい企画がいっぱいです！

詳しくは後日広報、チラシ等でお知らせします。お楽しみに！！



ウィルは女も男もいきいきと暮らせる社会づくりをめざす枚方市の拠点施設です

枚方市 男女共生フロア・ウィル 枚方市駅直結

〒573-0032 枚方市岡東町12-3-410サンブラザ3号館4階

TEL 072-843-5636 FAX 072-843-5637

開室時間 午前9時～午後5時30分(土日祝日、年末年始休所)

※ただし、火・木は午後8時まで、第1土曜日は午前9時～午後5時30分

